

山行報告書

山行管理部

土曜山行 金剛山（カラト谷～細尾谷） 9月12日（土）

CL 塚 SL 新熊・入山・安田（正） 15名

金剛山登山口（8:45）→トイレ前（8:55）→カトラ谷入口（9:30）→頂上（11:10）
→転法輪寺（11:15）→ダイトレ道→千早園地（11:45～昼食～12:05）→遊歩道→
細尾谷（13:00）→ロープウェイ前（14:10） [コースタイムは1班の場合です]

天候の不安定な時期だったが、幸い天気にも恵まれ、ほぼ青空の中を歩くことができた。暑い時期にもかかわらず、谷沿いの道は涼しく昼食時は寒いほどだった。カトラ谷は3年前の豪雨でかなり道が崩れ、まだ完全には元のようにはなっていないので、気を付けて登らないと道に迷いそうなところもあった。班別行動だったので、自分たちのペースでのんびり歩くことができた。気づいたこと、反省点としては、今回申し込み日の午前10時半には定員に達してしまったので、水曜日に会報が届いた会員には迷惑をかけてしまったこと、ほとんど他の班とは出会うことがないのでそれぞれの班のリーダーが道を間違えずに歩く必要があるのもちょっと大変だったことなどです。早く今までのように、みんなでワイワイ言いながら歩けるようになりたいです。

（塚 記）

サロン 黒塚古墳 9月14日（月）

C.L 森下 S.L 宇野 参加8名

JR 柳本駅 10:50 — 黒塚古墳 11:00 — 崇神天皇陵 11:10 — 景行天皇陵
11:35 — 桧原神社 13:30 — 三輪神社 14:05 — 近鉄桜井駅 15:10（解散）

あれ程暑かった夏の猛暑もさすがに9月半ばともなれば和らぎ、木陰に入れば心地よい風を感じられる良い日に恵まれました。たまたま月曜日ということで。黒塚古墳の資料館は休館日で、館内にある古墳内部のレプリカ等を見学することができず残念でした。でもその後、崇神、景行両天皇陵を巡り、久しぶりに山の辺の道に入り、かつて何度も歩いた時のことを思い出し、懐かしく又楽しく歩くことができました。

（森下 記）

ターブルドート ^{さんじょうさん}三上山 9月20日 C.L 森本 S.L 木村（佐） 参加15名

JR 棚倉駅 9:10 — 涌出宮 9:15 — 三上山 12:05（昼食） 出発 12:40 — 海住山寺境内横 14:00 — 加茂駅 15:30（解散）

三上山はこれまで2度中止になり、3度目で男性2人女性13人で出発する。

棚倉駅から途中竹林を見ながらの緩やかな登り、山頂には立派な展望台がある。下りは急なところやアスファルト通り、海住山寺までは又登りと変化に富んだコースで、お寺の境内には入らず「らくなんトレイル」を下り加茂駅に着く。

(木村 佐知子 記)

有志山行 弥山川 (大峯) 8月25～26日

C L 乾 S L 湯浅 新熊 記録 稲田理 参加4名

8月25日(火)

近鉄下市口駅集合8時00分

近鉄下市口駅8時10分発→熊渡着8時50分(自家用車)

熊渡ゲート9時00分→林道分岐9時45分→白川八丁→一ノ滝12時着

(昼食休憩)12時30分発→滝見テラス14時15分(双門の滝遠望)→

河原小屋跡16時15分(雷雨のため一時行動休止)→狼平避難小屋

18時20分着(夕食後睡眠)

8月26日(水)

狼平避難小屋7時00分→ナベの耳7時40分→ナメリ谷出合8時15分

→熊渡ゲート10時45分着(山行終了) 洞川にて昼食、天川温泉にて休息後、近鉄下市口駅にて解散

関西随一の難コースとも言われる弥山川「双門コース」を遡上しました。

崩落した「栈橋」、延々と続く「鉄梯子」、岩に打ち付けられた「鉄の楔」と鎖、最後の難関のゆらり揺れる「鉄の縄梯子」等を頼りに進むコースでした。崩落、崩壊箇所も多々あり「矢印」や「テープ」を頼りにルートを探しながら進むと言うよりは我々自身にとって最適なルートを確認しながらの前進となり、特に沢登は水量により変化する渡渉可能な個所を見つけ出す必要がありました。メンバー全員、腰や足から下の水没を経験しました。

河原小屋跡を過ぎた頃より雷雨となり一時岩陰に避難しタイムロスが発生しました、また狼平避難小屋の近くにて行く手を滝に阻まれ弥山川遡上が困難になり稜線の登山道にエスケープしましたが結果としては最善のコース選択となり無事に避難小屋に到着することが出来ました。当然の事ながら単独で行ける様なコースではなくパーティーメンバーの経験や知識、厳しい局面での適格な状況判断や冷静沈着な決断にて歩き切れたと感謝しております。帰路はのんびりと大峯の景観を楽しみながら歩き洞川にて昼食、天川にて温泉で山行の疲れを癒しました。ご同行頂いたメンバーに感謝の山行でした。

(稲田理 記)

有志山行(教育部) 沢登り(比良山系 八ッ淵の滝) 8月29日(土)

CL 高桑、SL 家納 参加5名

07:00 大阪森之宮駅→08:40 ガリバー村着→09:10 発→09:50 道迷戻る→10:20 入溪
→11:40 ゴルジュ前→12:20 大播鉢→貴船の滝→13:50 遡行中止→15:20 ガリバー
村→19:00JR 大阪駅解散

この夏 2 回目となる沢登りに前回実施した白滝とは別の場所へ行きたいとの思
いから、いろいろ検討した結果「八ッ淵の滝」に決まった。10 年前に経験ある高桑
氏も全く遡行の記憶戻らず、全員初入溪の雰囲気進む。沢登り初デビューも 2 人
いるので躊躇せずロープを出して確保。ゴルジュでは、キャニオニングツアーに占
められ巻き道を進む。暫らく緩やかな沢が続き景色を楽しみながら遡行するが、当
初予定地までは時間的に無理と判断して、遡行中止して登山道を下山する。
今年の経験を生かして来年もチャレンジしたいが、現地 8 時着で行動しないとツア
ー Gr の影響を避けられないのではと思うと前泊が好ましいが、来年のコロナ禍が
どうなっているのか予測できないので、取り敢えずはこの報告を留意の上、来夏に
備える。

コロナ禍の中で実施したことは、種々の見解があると思うが、やらないと判らな
いこともあることが、実感できた有意義な一日だった。

(家納 記)

有志山行 プチ歓迎会 9月6日 L 高桑 参加8名

残暑厳しい中、昼過ぎに事務所へ6名の新入会が参加して、同会を実施しました。
内容は案内のレジュメにそって進め、13時スタートで16時に終わりました。

初めての試みでしたが、終了後の感想では、

- ・会費の納入については図示説明で3,9月に揃える会の要望の意図が理解できた
- ・読図でコンパスの扱い方について、室内の間取りを題材にしたことが、理解し易くなり同じ作業を地形図上で応用することも難なく理解できるようになった。
- ・メールで山行参加を申し込んだときにその可否の返信がないと非常に不安になる
- ・複数の山行参加申し込みする時に、個別にメール発信をしなければならないのかなどがあり、運営委員会で運用の確認が必要なものもある旨の返答をした。

又、どんな山に行きたいかの質問には、例えば交野山のような近場で見晴らしのいい山へ、冬の愛宕山や燕岳などなどのご意見を伺い、新しい仲間を作り・育てるにはベテランも初心の感動を伝え、プラス安全登山の技術を普及する努力も必要と感じた。

今回の企画は新人歓迎会がコロナ禍で中止された代替企画として対象会員に有

志で案内をしました。その中で、9月号の会報発送時に、折込として8月号に掲載した案内文とその主旨説明の文章を追加した一葉の冒頭に手書きでお名前と「参加されませんか？」と書き加えたのが功を奏した感触を得ました。

(参加者6名/対象者9名)

参加者：スタッフ（高桑、松本光）、長田、野上、石川、松本良、高田、小村

(高桑 記)